

2023年度 環境経営レポート

対象期間：2023年6月～2024年5月



株式会社 大下水道設備商会

発行日：2024年9月20日

改定日：2024年10月8日



認証番号0010848

目 次

1. 組織の概要と対象範囲	2/7
2. 環境経営方針	3/7
3. 実施体制図及び役割・責任権限表	4/7
4. 環境経営目標とその実績	5/7
5. 環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の環境経営計画	6/7
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価結果並びに違反、訴訟等の有無	7/7
7. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	7/7

1. 組織の概要と対象範囲

- (1) 組織名 : 株式会社大下水道設備商会
代表者氏名 : 代表取締役 大下 正和
- (2) 対象事業所 : 本社 … 兵庫県姫路市広畑区西夢前台5丁目165番地 (太陽光発電)
所在地 倉庫 … 兵庫県姫路市広畑区西夢前台5丁目164番地
車庫 … 兵庫県姫路市広畑区西夢前台5丁目167番地 (太陽光発電)
資材置場① … 兵庫県姫路市広畑区西蒲田1337番地20
資材置場② … 兵庫県姫路市広畑区西夢前台5丁目133番地
資材置場③ … 兵庫県姫路市夢前町高長343-1 350-1 (太陽光発電)
* 上記以外の事業所はありません。
太陽光発電は3ヶ所の場所に設置しております。
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先:
・ 環境管理責任者 : 大下 正和 (代表取締役)
・ 担当者名 : 大下 正和 (代表取締役)
・ TEL : 079-236-5872 FAX : 079-236-8699
・ E-mail : oosita@tiara.ocn.ne.jp
- (4) 対象事業活動 : 管工事業、土木工事業、水道施設工事業、舗装工事業、解体工事業、
太陽光発電事業
建設業許可番号:兵庫県知事 許可(特-5)第 454382 号

(5) 事業規模 :

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	352	416	215
従業員	人	10	10	12
本社敷地面積(床面積)	m ²	180(100)	180(100)	180(100)
倉庫敷地面積(床面積)	m ²	200(170)	200(170)	200(170)
車庫	m ²	200	200	200
資材置場①敷地面積	m ²	1,020	1,020	1,020
資材置場②敷地面積	m ²	231	231	231
資材置場③敷地面積	m ²	1638	1638	1638

- (6) 主な環境負荷の状況:

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	26,447	32,206	23,448
産業廃棄物排出量	t	792	604	352
水使用量	m ³	134	140	139

※ 使用電力の二酸化炭素排出係数は2020年度の環境省公表の
電気事業者別CO₂排出係数(関西電力株式会社の調整後排出係数)
0.351kg-CO₂/kWhを使用しています。

※一般廃棄物排出量については、2023年10月より実施を開始しています。

- (7) 事業年度 : 6月～翌年5月

2. 環境経営方針

1. 環境理念

株式会社大下水道設備商会は、管工事、土木工事、水道施設工事業、舗装工事業、解体工事業、太陽光発電事業に係る営業活動において時代のニーズに合い地域社会（お客様）から信用信頼される企業を目指して社員一丸となって取り組みます。

当社は定期的に経営における課題とチャンスを確認し、環境への取組みと環境負荷の削減に努め、持続的発展が可能な社会の構築に貢献します。

2. 行動指針

当社は、管工事、土木工事、水道施設工事業、舗装工事、解体工事、太陽光発電事業の事業活動を通じて次の事項に取り組みます。

- (1) 環境関連法規等を遵守します。
 - (2) エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、汚染の予防と継続的改善に努めます。
 - (3) 事業活動全般における環境負荷を削減するために次の活動に取り組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量削減（電力使用量の削減、安全運転、法定速度の遵守により自動車燃費量の向上、冷暖房設備の適温使用に努める）
 - ② 廃棄物排出量削減（産業廃棄物の分別削減、リサイクル促進）
 - ③ 資源の節約（コピー用紙使用量削減、リサイクル促進）
 - ④ 水使用量の削減（上水・井水の使用量低減）
- 全ての工事現場において環境への取組みを自己チェックし、環境負荷を低減する。
（アイドリングストップ ごみを分別しリサイクル促進）
- ⑤ 太陽光発電事業を推進します
 - ⑥ SDGs宣言の取組み、健康経営活動と共に事業発展、地元地域貢献に取り組みます。

3. この環境経営方針は当社全従業員及び下請協力会社に周知するとともに、社会にも公開します。

制定日：2014年12月15日

改訂日：2024年5月30日

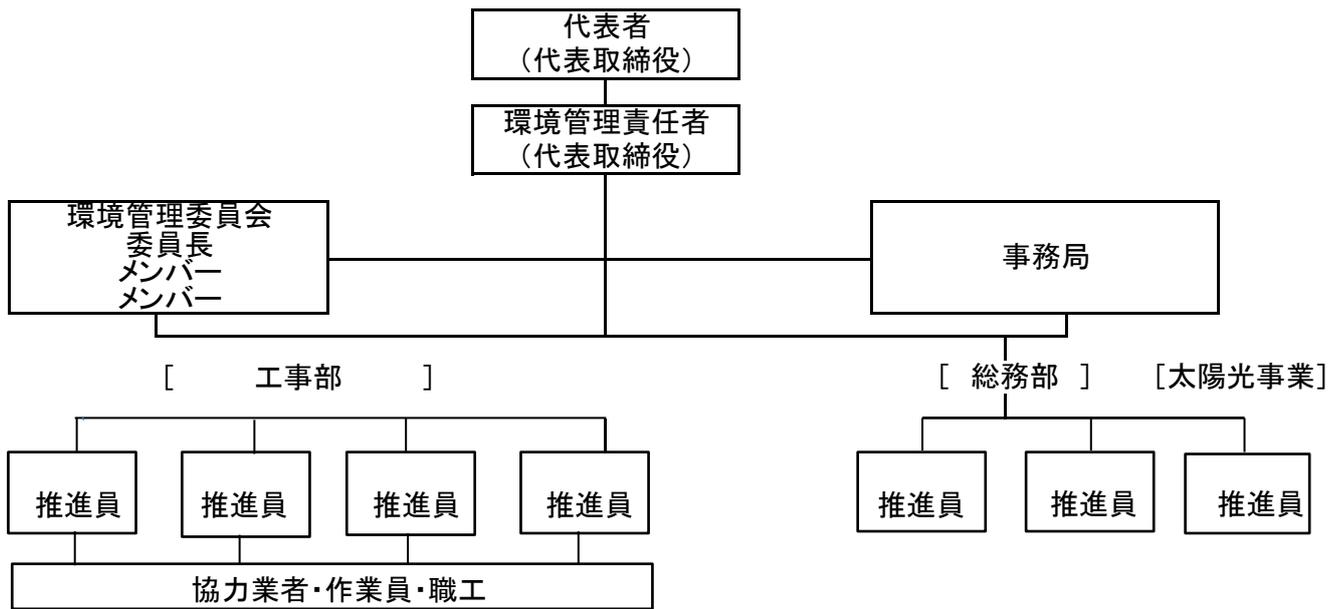


姫路市広畑区西夢前台五丁目165番地
株式会社 大下水道設備商会
代表取締役 大下 正和



認証番号0010848

3.実施体制図及び役割・責任権限表



役割・責任・権限

役割	役割・責任・権限
代表者	経営における課題とチャンス の明確化 環境経営方針(環境理念・行動指針)の制定と周知 環境管理責任者の任命 環境経営システムの実施・管理に必要な資源の準備 環境経営システムの全体の評価と見直し・指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築と運用 環境経営目標及び環境経営計画の承認 代表者への環境経営システムの実施状況報告 環境管理委員会の設置と運営 外部からの苦情・要望等の受付と対応、結果の記録 環境経営レポートの確認 緊急事態の対応策作成と訓練実施計画の立案と実施
環境管理委員会	EA21の運営機関 環境経営目標及び環境経営計画の審議・立案 環境経営計画の改善状況の審議
環境事務局	環境活動状況の収集・取りまとめ・課題の整理 EA21に関する活動の諸手続き・窓口担当及び文書・記録の管理 環境経営レポートの作成 環境管理委員会での検討課題の提示
部門長 (工事部)	工事現場の環境負荷低減の推進 産業廃棄物削減の推進 自動車燃費の向上推進
部門長 (総務部)	省エネ(電力・燃料等)の推進 水資源投入量削減の推進 紙資源の節約推進 一般廃棄物の分別徹底と削減の推進 省エネに関するデータの拾い出し、集計、管理
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標とその実績

当社の主な環境経営目標と実績は次の通りです。

項目		年度 目標・実績		2022年度実績	2023年度			2024年度	2025年度
				2022.6～ 2023.5	2023.6～2024.5			2024.6～ 2025.5	2025.6～ 2026.5
				実績 (基準)	目標 (基準-1%)	実績	達成率 %	目標 (前年度ベース)	目標 (前年度ベース)
CO2総排出量(事業所+建設現場)		kg-CO2	32,206	31,884	23,448	136	23,448	23,448	
電力	使用量(事業所)	kWh	3,552	3,516	3,538	99	3,538	3,538	
	CO2排出量	kg-CO2	1,247	1,234	1,242	99	1,242	1,242	
軽油	自動車燃費の向上 (建設現場)	km/L	6.7	6.7	6.7	100	6.7	6.7	
	CO2排出量	kg-CO2	25,208	24,956	17,271	144	17,271	17,271	
ガソリン	自動車燃費の向上 (事業所・建設現場)	km/L	16.9	17.1	16.3	95	16.3	16.3	
	CO2排出量	kg-CO2	4,500	4,455	3,948	113	3,948	3,948	
灯油	CO2排出量	kg-CO2	1,251	1,238	988	125	988	988	
廃棄物	産廃の分別の徹底度	%	100	100	100	100	100	100	
	一般廃棄物の分別の徹底度	%	100	100	100	100	100	100	
総水 使用量	水使用量(事業所)	上水	m3	140	139	139	100	139	139
紙資源	コピー用紙使用量 (事業所)	箱	18	18	15	120	15	15	
環境負荷	建設現場での環境負荷 低減自己チェックポイント	目標	%	100	100	100	100	100	
太陽光発電	太陽光発電の 維持、管理	目標	kWh (月平均)	103,744	104,781	102,630	98	102,630	102,630

※ 電力のCO2排出係数は1、(6)参照。

※ 化学物質使用の実績はありません。

※ 軽油・ガソリンについては使用量ではなく、燃費で評価しています。

※ 削減目標の達成度＝目標÷実績×100%、増加目標の達成度＝実績÷目標×100%

5.環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

活動目標区分	取組の領域	主な取組	取組結果の評価	次年度の環境経営計画
電気使用量の削減	事業所	1.節電シールの貼り付け 2.空調機のフィルターの清掃1回/月 3.OA機器の省エネモード設定 4.照明機器の不使用时消灯 5.退社時はコンセントを抜く 6.冷房:27℃ 暖房18℃設定 7.実施監視パトロール1回以上/月	冷暖房の適温使用をした 服装チェック、夏季はクールビズ対応、冬季は一枚多く着用、ヒートテックの商品を使用した 目標はやや未達成であったが、前年度より使用量を削減する事ができた	既取組の習慣化への取り組み 凡事徹底の励行
軽油使用量 自動車燃費の削減	事業所 工事現場	1.加減速の少ない運転 2.移動コースの効率化 3.アイドリングストップ 4.車輛、重機の定期整備 5.運転日報を記録する 6.実施監視パトロール1回以上/月	運転日報の記入は浸透、 記入漏れはほとんど無し 新車輛の購入により使用量、CO ₂ 排出量の低下	これら認識浸透の教育の継続 車種・走行距離別の燃費データ取り 燃費目標の設定と改善 協力業者を含めた取組み 新車輛の購入(買い替え)
ガソリン使用量 自動車燃費の削減	事業所 工事現場	1.加減速の少ない運転 2.移動コースの効率化 3.アイドリングストップ 4.車輛、重機の定期整備 5.運転日報を記録する 6.実施監視パトロール1回以上/月	運転日報の記入は浸透、 記入漏れはほぼ無し 新車輛の購入により使用量、CO ₂ 排出量が低下した 姫路市内近隣の移動が多く燃費は低下している	これら認識浸透の教育の継続 車種・走行距離別の燃費データ取り 燃費目標の設定と改善 協力業者を含めた取組み
灯油使用量の削減	事業所	暖房器具の適切な使用 室内温度の適正温度による使用をし、灯油量の削減に取り組む	暖房器具の省エネ仕様の器具に取替え使用した結果 灯油使用量の削減になった	省エネに貢献 部屋暖房は社員の共同使用 就業時間を遵守 使用時間の削減
廃棄物分別の徹底	事業所 (一般廃棄物) 工事現場 (産廃)	先ず分別の徹底から取り組む 1.分別対象物を設定する 2.区分毎に分別表示をする 3.5回/月以上実施状況を確認する	ほぼ完璧に分別できている 分別した再生資源を地元自治会の資金に活用貢献	引き続き朝礼などでこの意義の浸透を図って行く その中で分別された廃棄物の特徴(再生利用性)を捉え 再利用や作業工夫による削減有価物化に結びつける
上水井水 使用量の削減	事業所	1.節水シールを貼る 2.出しっぱなしにしない 3.洗剤を適正使用する	これまでも実施していたためスムーズに浸透した	効果を上げた削減策の定着 メーカーから削減事例を入手しその適用を試みる
コピー用紙 使用量の削減	事業所	1.コピー用紙の裏面利用 2.コピー対象物・枚数の事前確認 3.注意事項の貼付 4.印刷方法によるコストの削減	これまでも実施していたためスムーズに浸透した	効果を上げた削減策の組織内定着 今後は電子媒体を活用しペーパーレス化していきたい
環境負荷の低減	工事現場	1.当社業務の関わる環境負荷を低減させる工法の情報収集 2.騒音、振動等、環境負荷チェックリストの活用による低減	工事現場でのチェックリストの活用は浸透してきている	情報をもとに負荷低減工法の導入を進める 環境負荷チェックリストの活用継続と、内容の見直し
太陽光発電の維持、管理	資材置場 事務所車庫	1.正常な稼働をしているかパソコン、通知書で毎月のデータを確認する。 2.年に1回の点検の実施	データの確認を忘れずに行えた 年に1回の点検を実施し、正常な稼働を確認する事ができた	引き続きデータの確認、年次点検を行なう

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 主要な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

2024年5月30日

環境関連法規及び条例	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	・ 廃棄物収集、運搬及び処理業者の許可の確認・契約 ・ マニフェストの交付と管理及び交付状況の報告	遵守
建設リサイクル法	・ 特定建設資材の再資源化 ・ 特定建設資材と再生資源の利用量の把握等による計画の作成と実施記録の保存	遵守
騒音規制法・振動規制法	・ 規制値及び規制基準の遵守	遵守
フロン排出抑制法	・ 廃棄する際にフロン類回収業者へ引き渡すと共に、使用時には、簡易定期点検及び定期点検を実施しその実施記録を残すと共に、故障時にはその点検記録を業者に提示する。	遵守
自動車NOx・PM法	・ 自動車の運転に際し、排出抑制に努める	遵守
姫路市条例	・ 自動車運行等に関する条例	遵守

2. 違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。環境関連法規の遵守状況については、定期的に「環境関連法規の取りまとめ・遵守チェックリスト」を基に遵守評価を行っている。
尚、関係当局よりの違反等の指摘も過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

エコアクション21活動の対象期間(2023年6月～2024年5月)について、代表者による全体評価と見直し・指示を2024年9月1日に実施しました。

見直し結果	変更の必要性	指示事項
1. 環境経営方針	無	エコアクションの推進
2. 環境経営目標	無	工事件数の増加につきエネルギー資源の使用増加が見込まれるが環境に配慮した取り組みをデータに基づき実施する。安全安心な暮らしのサポートを環境配慮に取り組む事に実行をする
3. 環境経営計画	無	工事件数の増加につき環境への負荷増加が見込まれるが、環境に配慮したエコへの取り組みを行い地球環境の改善に貢献する。環境に配慮したゴミの分別、リサイクル化、燃費の向上に取り組む。安全運転の励行を指示
4. 実施体制	無	今の体制を継続する

2024年9月1日 代表取締役 大下正和